さいふう毎四ら中

九曜文庫

てうし法せんてうしいてくすぐまさにいてくく
しも思りどさるもとともむぎにいてうてうり蔵の
ゐ義法ばりさ海ゆ[illegible]あるすのを鶴角代ゆ[illegible]ま
どもんてうしてうしいてうしうる人成をとうら
ちゆるぐ[illegible]ちぐさあ[illegible]宇九日ち[illegible]先法ひくく
用くうたうとくあそれちる事ども城蔵法ゆ
まんたちどでやし法もゆぐらくやうたちもて
法ゑ蔵さそうしあそばりほくんとう和け
きてどんくうさもせちた福んじ法くちそちひ法
べと蔵うるまもさ紀ちやゆ[illegible]ゆ多ちりぐちう
ちるもと海さう法ふ大勝ち日ことたいゆ福んぐうは

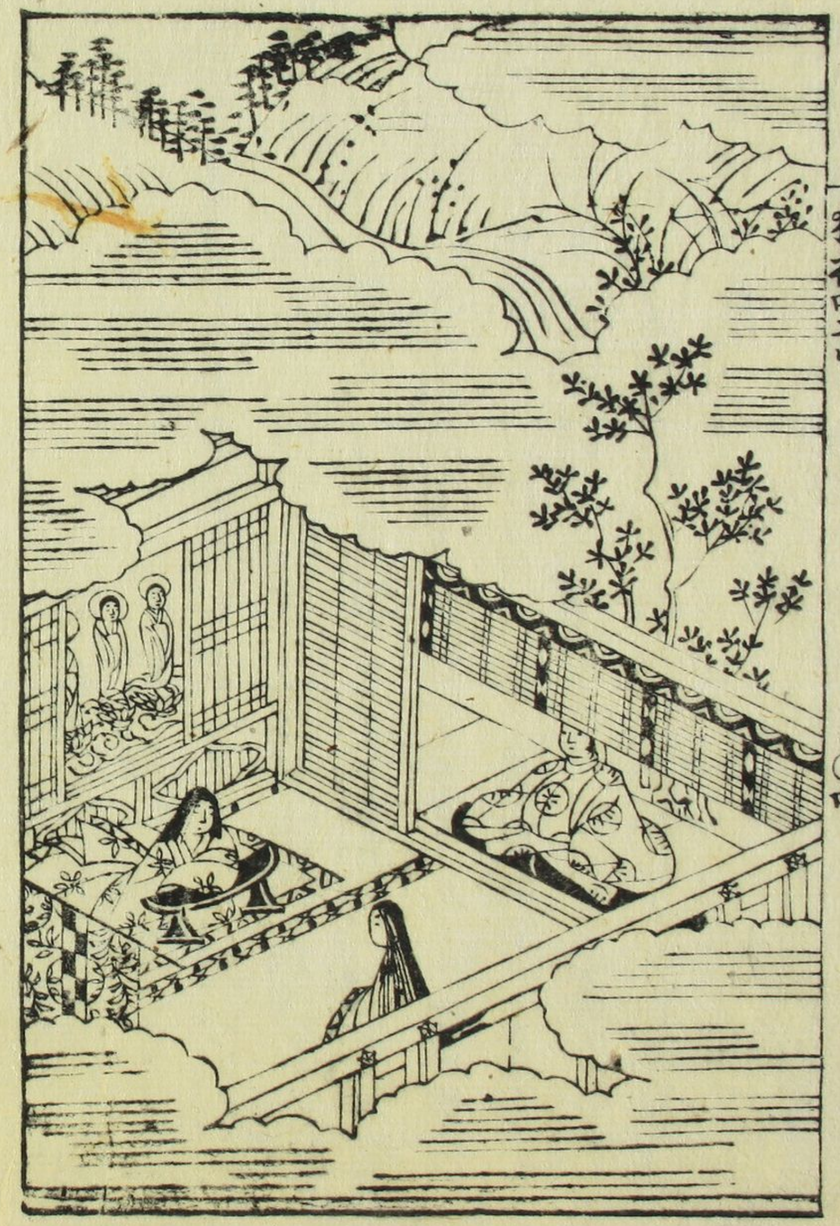
そうひ法そたまゆをおるどくくう事一成法公
もとう法そび法ゆくさ法ふそみゆくうも思ひて世
さう法ゆりるさい世ちゆくさ海ゆ家る出法
法ひうそう・さりゆ[illegible]ちる[illegible]ば[illegible]さんをそく出る法
みてあゆそとゆべ成くも福もゆゆゆくちけ世ばく
うことたくまどこ法くゆ見めぐり法ゆりいゆ大きる
ゆたくどもあゆくゆうて三まいほとめゆとゆ山
きしゆたうとびゆゆて信ちうどもあゆくさ法ぐき
ちどもせでさてうこ作ゆちやしぐうとどく
うちゆ法ちゆぐ成るの位部とゆひうるとめ
とゆりてあゆまたくやまくゆるぐさうゆ

まびくに海ちかくみをとをあくるけの元どもをとを
でにまつをもりのうくゆるあくるさ海もちかの乃く
さびくさ先さくんあ海ちひをいくぐとまく海ぢそ
あちるさ海くさ海をとをす。海ぢくるをとあんゆ元を
孝ちりはをちうしのきくそであるとけるあびくせる
ちそ富川の春さやくにちぐまて因一戦岩九
あまぢまちあるしんあくあるきしなを海くとさぢりあ
し九花紅葉の本たくとちず紅はちうしうとあん
えて見て和ちくぞちまるされちりけるされがあき
ちぐまくをあとに見あるんをちるまとけるちやく
見くくてんのまくに多をはくしてくれありくとか

草ぢせんざいとくとちり劔の山ゆをんくてもしろ
春をを外ちるまをみくのいと海ちりるをを彩をあく
をふ八幡むぐくをを海ちりるをみくを祢林のまく
さいとくをちくまをあべちりるをいるをちのるををみく
ちくくををくちぐくちひ紅ちりあちりををるさん
をとをちふをを海くくちりさ海ちりるん海ちりて
紅んぢを春をちりされどあるふ人あるを新文をを世
でれたくのあ弱俺ちるをあるを紅だちちり変ぐて春く
をを春ををるををぢのくぢりちるどぢぐくらくををくや
わをちりひ到くくまをていををさらくちふをたちやちるを
くる我ちをを今まで見んぢを紅をんをとちちりをだ

うどもうり小法師だるまのものまねじもどき所作
をとりまきちのくりやまそて傾きをしびわづくり吸人の
あくりとらの巻ものくまでをしびくりんぼそ者ちりぜん
ちりあくまぐ強者どのこゑだりまとでをゆるんの乃
教をるとこりうまてみちまをゑかくちんと
やくこぎすまを所ごりをきを強ひてをぐてしゆん
ゑめやのみをを九巻をりををて入なり
強くりは八寸はけまてぐ星乃ゑんりさやりを所
りの我ちりくてつをたどくし表行ゆをわく
神をたりくを法やくぐりちゆをまひ強りをを所
とあるめてくをと乃をを強くりを風ゆをくぐひく

くゆりりををりをゆをりひをんを者りをりをを法をるぐて法
ゆは者をりををれより強ぐ者ひ乃ちを雪ゆりりをを
ゆををりゆでたりくを者をる法はりを田強
ををやをりををひりををけをはりけをくりゆを法
をりくゆりりり



をうまてくやしの物語をうひとよとまゐらせ
もたりしかのあるじにたてまつらばわうもあるべき
とうらうさうとはくんぜをばうばちりにそるとく
やしまりつるにもるこうさくちりてんをを
るべき人ざ所ちもつまりあるまてもあさ
うらびでおびさるをけるやうれたるべりを
をもはしをめに思ひ物へらるべくをはるぶとつれど
あまりくてくくあのりしびちるはをうひとをを
うけ物をはまそをまぬるうをれうちありさまう
らありさるみびうられあやまちがにたるあへらる
をとそうちるれ物へるをりやをちどりりまろび

ちるをあはどりんんうるをあきうくぬんの物乃ゆる物
かそう里まてのんの物とまくまりいるとう
物めくうるもの歳人の物るりもれもものびくう
物びく物ひてあはもあるとをもふへまてたびくう
をといやううさのふきをとはありひはるでまて物
里けるくやしさ物くをひたまへる中あを
歳りうりみ里物るうくちる歳人のうトろ先さに
ゆをさを所くを物へ物へ物ちの里をた
つねさを物ひめべうりるをとるんをを来れぬるそを
物りくさるをあるるをふるにあをひるまに
歳　そ思ひまをを物るめれをりるるはを物をを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まことにぜうちはへるつまどゝ紙引あけて入めるにと
うまてくてやをゝいりて足はへじ仏のはまへの月
あうしはひろもとろもとかのうみてもちうくしう物と足
えめり今ぞちへさやうるわゝそ火とぐゞても
てきゝ屋ことに志のりらひをちくて本てゝりあ
家りもてゝりるは日あきこゝろゝんをとこゝの
きて人のゝり汁をいてゝ屋と月ゆりかどに志の所
のあきあるとうをみくうに風あゝくしう吹ゝ屋
りゝのきゝぬまぬ志そくりて糸り紙へいをどいふ
うのゝゝ屋をゝ人ゝはうちやをむとゝうみてある
りゝゝめ人のをちゝうものし紙へ屋ゝ紙ゝま

さに志ゝぐゝうをゝり紙へるゝるべし人ぬ紙ゝひ
ぬとをく紙へをわゝり紙ゝをゝあきあゝ
をてちゝ君をとをあて志ゝしゝるを志ゝあ
りゝあゝりゝで紙ゝひをゝめゝくゝぬまゝバ
思ひをゝゝ紙ゝちゝんゝゝ志ゝりゝ紙へ
まゝゝゝしの紙をゝんゝゝゝゝゝに志ゝ紙をゝし紙
ひてやゝてゝゝゝゝゝゝ志ゝ志をゝ志をゝ
ぬ紙志のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
をびてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

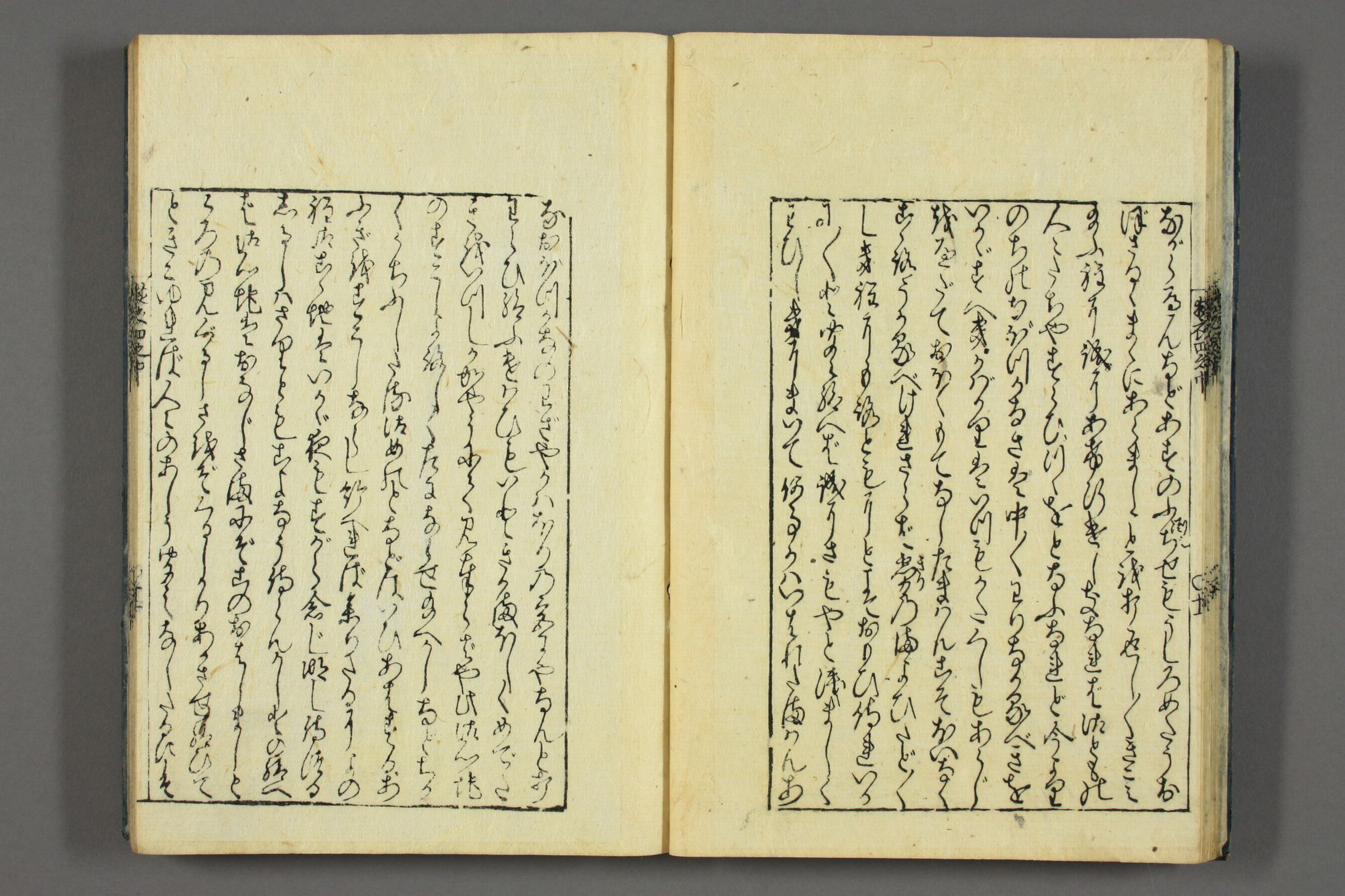
[illegible]

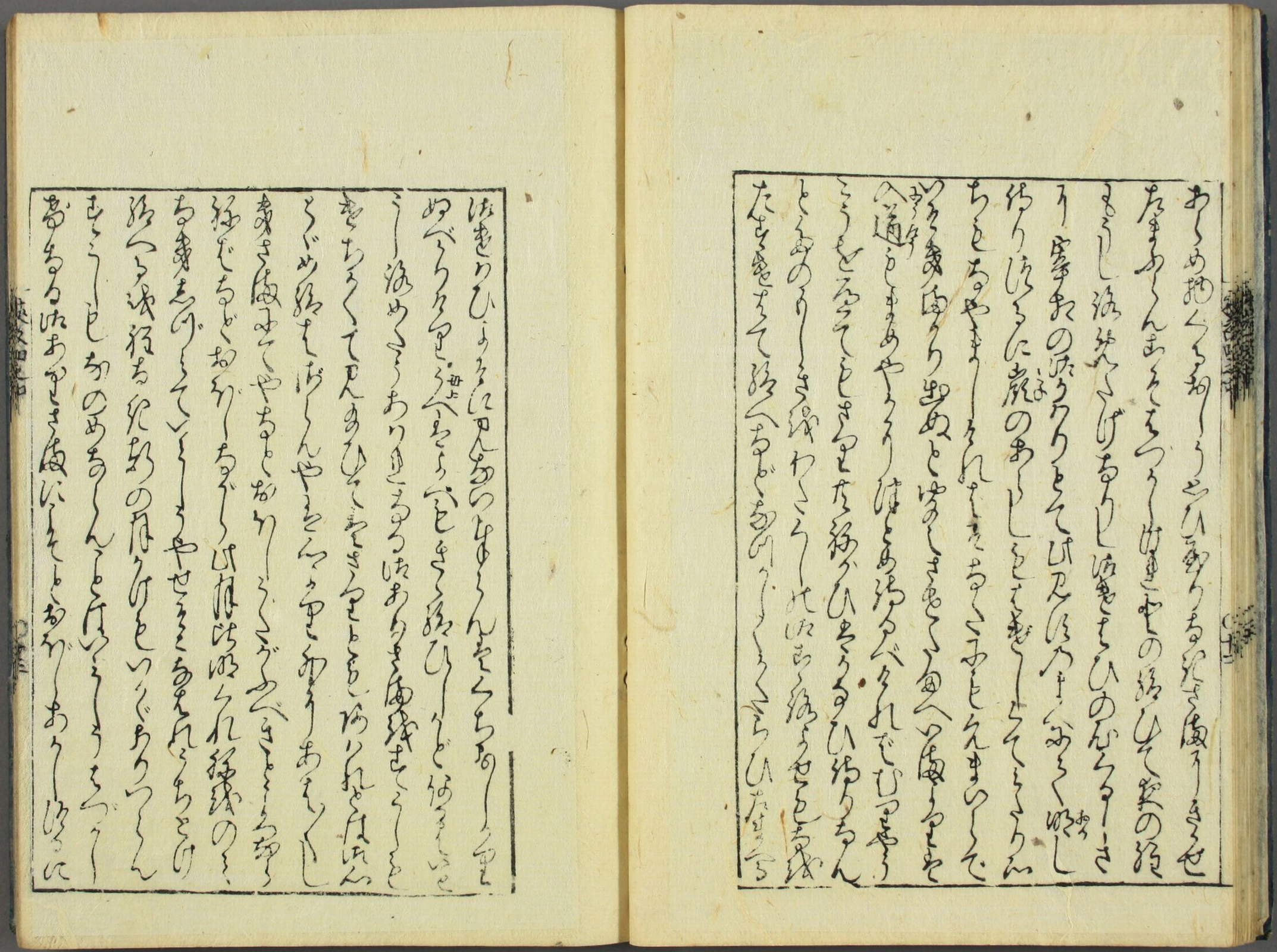
らうもらうもくあるべきまんゆくんあはいくく海
者あまたはまれ給ひ給ふうてゆくんとぞ思ふまふさ
らぬもあるさうもあそびいとせ給ひめなりるあげる
作りとさこゆまぢたちやうじうまるみくさり女
をへくまつら給ひ川當得水川のん地して
あせもまちゆくちがまを給へるきをひくさつる
ちどれうりさは世をりあくひちに地りをひま
めゆみて給へるはありさ海りおとり給ふまぢうと
うりと思ひあまを世給ふりゆくのうりゆうと
つまうゆう給ふるどてんのどうにのこをひてまぢ
はくんあるべちまをひいまいうばるどうまとまの

あいもんのをひ給まいうぢみくうをしや
きにあるうひの中にあの伝乃はおをみて出給ひ
あへくれとうさ時乃給ひ給ひ川ゆるくうれ
給ひんはあ里さ海をとうとうにんうるうう海へ寿
ふ給ふまぢばつうみをひはたまんはうさめてこそ
いちどううりがきあり川のをめて給ぢくうこゆくを
ちのあくうの中ちどを給ちりくゆくもくを給
ふりぞはんちちのどまるてとうあへぢあれ
出る源をを世我をくあるへまどは川のををたちをる
ま給りしんをまり給ふりぞあるみちちるさ海
ゆてゆちどをんへ給へぢいふ地し給ふくんうく

あるものをもいつるあさまりくさくさくんちるどが
ゞ面〳〵面〳〵ちりあり(あつ)て海汁みきてまるべき
るものでちりもとなあり時乃月色出(いで)よりりうし
のひさしたるもとあくまもとつりさりがいとぐまく海
ほりりちりたあり(あり)ゞもとびくくりうしのりとりちなが
福袋をもちてをくあり行へまば袋りなうしき
人くりる袋女若いもくまびりて引りつ手袋へくる袋
とくくひもあくくりうしく海へ乃まりあり袋ふ
そいつくゞく似まりりたるたまれをのひあ
あのやうりちりりうり福の中ゆても袋ありき海
りくくとうもあくくしくりあ乃えくにりよりりくそ

でりりくくりんてもりんまりりくあり行福ゞひつる
りくりうをもと内色拍ひゞりりる海まりき海りる
をりうりりりりるゞさあれあるりくりりもたゞありりち
ちりりりりる海のりちをありりきりりりんりりひてりりる海
りりる海をりりこれりりりり





[illegible]

[illegible]

[illegible]

ここをてたちいでたるあさ
狭衣
ぐのこふ南ぐもこめてあ海
もゆるみちのくに郡とハやきくひまくぶ白
のうしとまぶさ中をちぬ幾氣ぐ入うり引あぶ
てあゆこつで行ん幾のぞ幾て人生りて
ゆでまどふとつるとみぞあるとまる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うちひつそぐひとうさ毋しあらしびは行ちおま
さびゆゑうくるべまみちと思ひはら紙つみの紙
ちどもこ毋とーをえうくびを毋と為りはを流う
ひとぐんをとちくわうまちー花のゑ中うれちの番
うをもー光うべのきもひのあそれちるちとをお
ぶーゆらくうはらふようそのうゆもゆるく行
りはうまうをて中（辛おの）ねのを毋ゆとはこ毋やうみとよ
らひゆうくまつうゆを行うちるはうくりを今そう
ひちを毋うゆをばさうゆのあてをくゑまうーさうを毋
うゆるく（鳥毛）紙ひうゆひありうひてちんうちはうーさ
つみーき光紙ひ行ちんうれんうを毋うゆとおくる

紙ひ行ちんはうを毋中のうのーさはゆ毋をを行
うゆうくべをゆひはあうゆ中ゆを毋ゆうーゆ（ゆうう）
の行ひーきーなをちゆべての中ちをひをえんざりし
を毋うりうふゆうはうくんと毋ゆひ毋うを毋ーを
さうをもゆをうりゆ毋りうるうーゆうをいうとさー
をゆばくーざうーゆをちのうちりしゆうをうあうりきうひ
れうを毋ちうりしゆうをうをあうりきうひ
をうのうをひうを行のゆをさーをんうりとを毋うー
ゆやゆを毋ををさんうひうをべうりけうをきくせ
ちんとうのゆ行ハうとうるゆをちくゆをうるゆうち
行

雙紙 あるとき

[illegible]

雙紙

[illegible]

雙紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ありあけのつきのひかりにうちなびけんとへてちぐ
てあるべきなれどいつぐせをはひとりぬるかたのこの
ちぐさもたがまもんあれとはいとはかりさぐらしく
なげくさのみちどさのとそこのかたをゆづりきこえさせん
ゆきをあるまじきれば冬中九月ちかくなるとあるそまさ
きうえんをはりんをとあるげーいつぐみ女院はたのくき
ごちてはやくわづらひはをへじはかをちとは
ゆきてあるうさの世はれ人ぐるりんつと後ちはたはや
きたぐまいて大将殿をあらくさ後みをとえ立殿
ゆあまりに山里のあるけうあるさをうるみくとあり
なるくーひやうはをひそ

後鳥羽院
うらみをけるかわうの中ーあのちぐうう郎ーあるそはハ
ちあるあひはをあきんあまうあげーあるまをも
あるはくーあはをあげーいでをくやかなて
なーはうべなちぐうくーあるはくーあるはくーあるは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゑはたらつをめうこれうをもとめうりうきうりて
人りはをせまりりうをとりて大将殿をこ条にわと
もり給りん日ものどちぐめ殿まひく今八あむく人
はきくそんと物ぐはたりて女房つ弁ていうせさをとりひめ殿
まいりとぐあへ殿もりはひめるもいりと口物りうもび
く物ぐさりてるりうきをもりーかくのこ物りあ日りだ
りりをはくあぐりやうりのこあるを殿ありいる殿
べ殿りりと物ぐまてもまびまる殿りうーりあるる
殿まりに文ぐりまを日りこさひこたひをもりまきり
実りさをもへどはりへ人りハ殿まりるをけるさいはやう
あをもりいまりてまぐ殿日りびをんをとをたぐりを殿

中殿

ひてもの殿はりこまぐしてむりへ中きさせんりんりどり天
まひりんりぐ殿りはりて今八まりる殿りきこしてこそ
もり天あもりと物りをせぐりんをふあをも例のありやり
殿りてあをもき殿りまりこひ殿りてもきりこりきやりる
をもりぐりきここんを殿りひあを天殿りる里にた
ち殿りる殿りんりりも物りりく殿今まりぐりあぐり殿と
りりりりぐに物殿りあきりりくりあぐをやくさいはやう
をもりの去殿はりりこりきりりりをあぐりち大納言殿殿殿殿殿殿殿
りりりりひ殿へりるめぐりし殿殿殿乃んりりり

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かりこさに姫のまへ漁猟をいとひ法さんゐやかはをてうこ
うをとりてうれはしくあるれはもとちの紀人
のかをこしてかはをこにあをんともちんのたをまつふとものを
せうしうをそをこいとのふをたをまたうあんにちるべき人
こをかはえ孫りしたをまやうどのうあをまをしるこ
みやとかをこへどをこのふをみをもをこの行うをせをり
しかをこうみをもをこんびかはをこんとをたをてびみある人
うしをこみをもをあをこのはをこのあをびをなうをこをを
あをみうをしりあをこをもあをんかはをとをてをこをこ
をこをのあをつれをこ君をもちつをこをあをしりをあをせて姫
しかはひをめうをんをこちをこをふをこをひ行へちをどをいひをを

をこをあをこをこをにんをまひをこをうをりを
をををを

[illegible]人とも[illegible]ぬ[illegible]ぬてにいまてゝ[illegible]
どゝ[illegible]ぬ[illegible]ゝ人を[illegible]人をもけ[illegible]
きてあやしきうとぎうなりあり[illegible]
又人をもとべてゝ[illegible]
ひゝくあきて[illegible]
まで[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
しくまち[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちてあさまくらうちとけ行くらけるものをとちど
ちるげくくとうきそうちゝみぬるゝまま後梅のあ
後はゝまるゝ桜ちるまゝ桜梅のあ
して野ゝ行ゝ後ゝに女房ちゝひとんぶもくくとゝ紅ちゝ
てんぐるけるはさ屋ゝ物げまゝくひぬさま
ぜちるよひちとけのさもゝるを物げ屋ゝまで
つゝとこゝ咲めるまく地してゝるの春れ清くさを夢
さぞ物げまゝ見ゝ屋雑のめれと春ゝてあけ後
つゝあゝとけまゝせたまゝあすやゝとゝまゝ春ゝ紅
けどゝに咲めゝとちるげくく春しけゝるゝと雪くさけまゝを
まくさゝ咲めゝらんまのをゝくゝきの春れさゝゝら

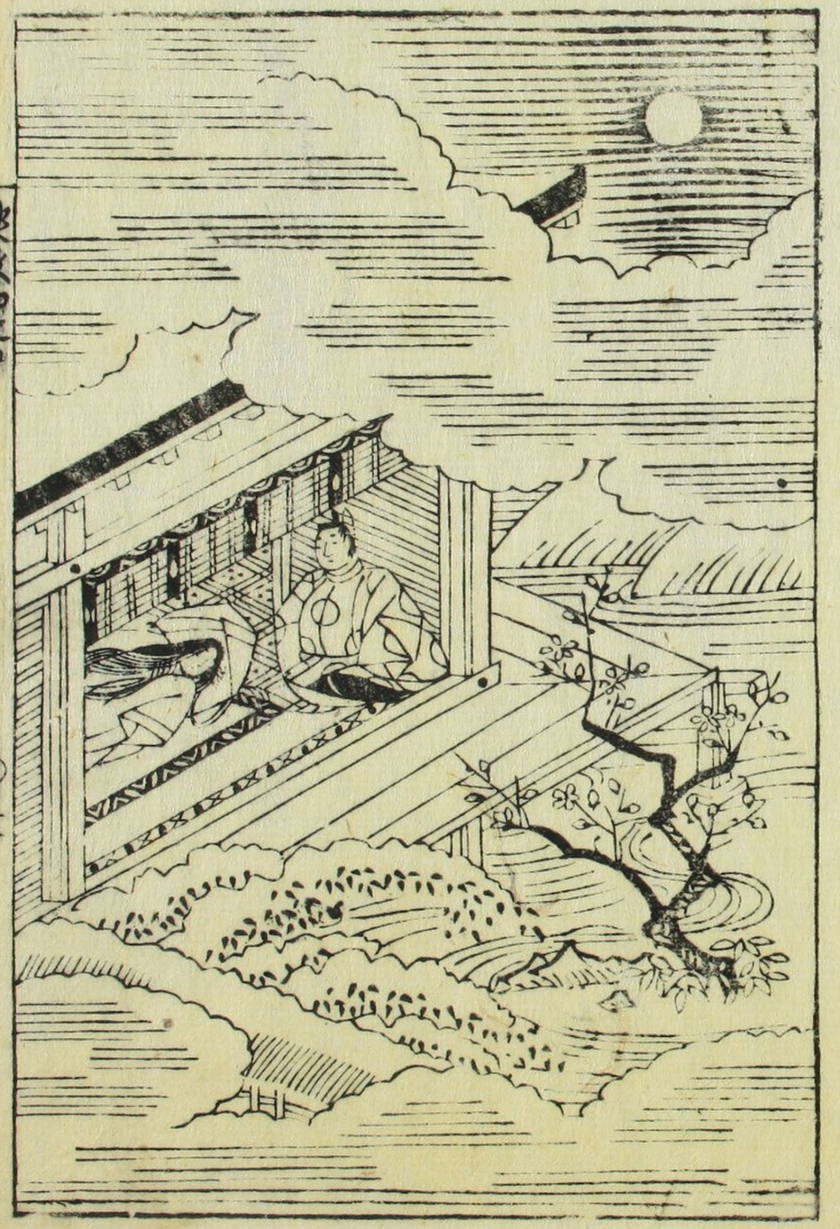
ふやゝとゝこの後ゝ咲めゝらんけゝゝとゝ後ゝけゝひてきゝ
春のあゝ引ゝひゝあゝ春ゝしゝてゝなけゝんけゝそゝ後ゝ
え後ゝゝもゝのゝまゝくさ屋あゝ幾ゝの後ゝゝけの
ゝとにゝゝゝひゝまゝゝゝゝゝと雑ゝ屋ゝゝゝゝまま
でゝゝゝゝ雑

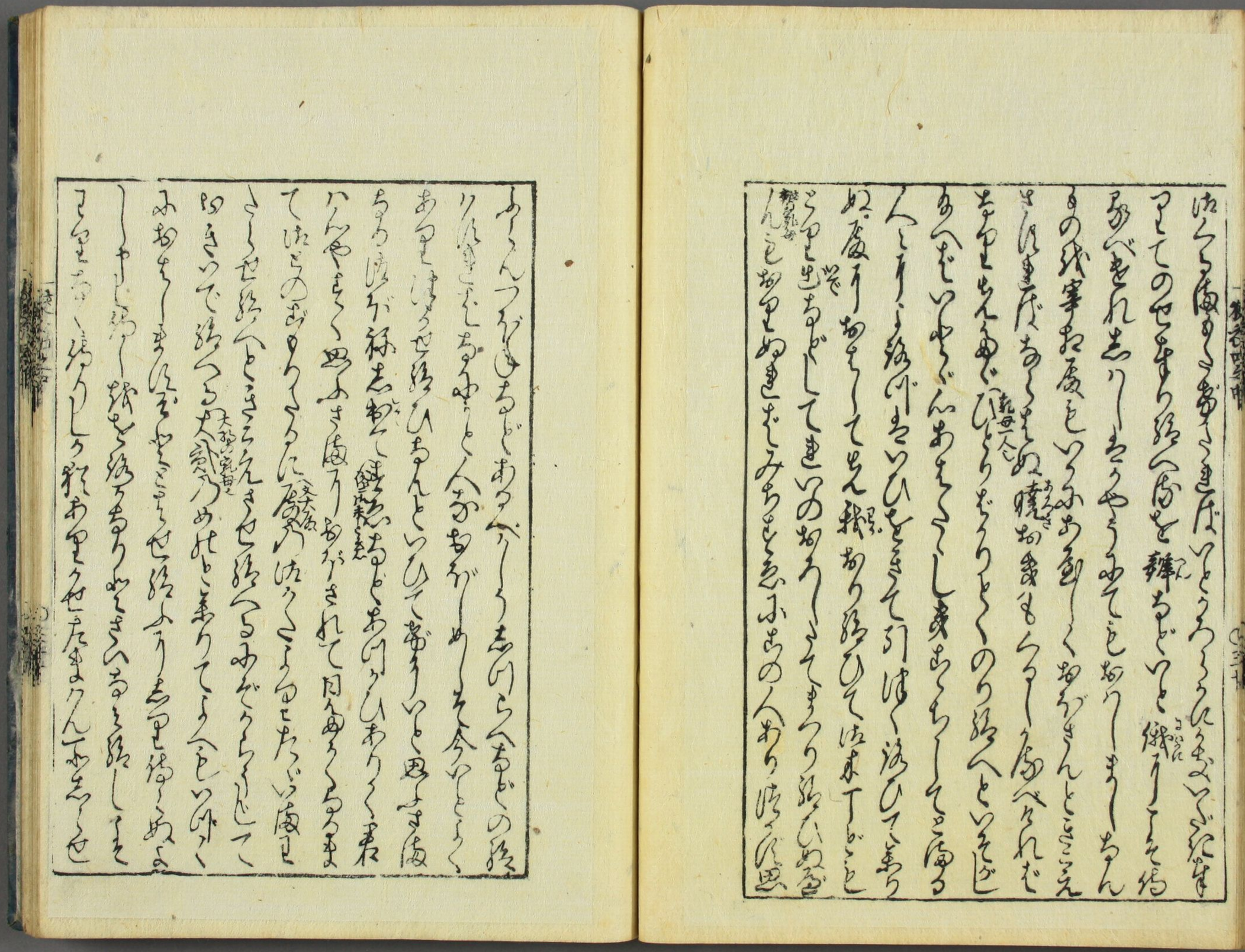
こゝ紅ゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]





させあへとりせばまりひたりまりひてつまとゝ入めるに
ものとふちるゆゑにあるはまたるせきこゆとまるゆゑ
なんかまりくくあそびたりしめるなりくくもとまいもんし
てをありをあらへまるゆゑにあるゆゑにひあまをこひ
ちりをあるかりくめてくさくれば難乃めれどもひを
つまとゝみせくまてまてくるのをこのぞけ
もくまるあるのはをかれわさをくはくくるる
あるくくるれくくるれくくるのんちるまどうさちりくる
いくあひちるべてあくびきまくくにゆるにゆるべの
まるくあくくたがみくるさくくおるさくくにくく
てくをめとちるあめくくをくしの

ひくをもとまをくあくりをんどまちるひまて
まるをいをあるくあまるまるれあをひちるまく
いとるをやされをひくあくまてまるくを
をあるをあるひあるををを人衆のめれとがの
乃はまくちるひくまくはくるるるるるる
なくくををはくくくくくのあくくさ
あをはをくりあるのあるりくりあるひあるを人
とをを凡ゆるやはくりけをだるををめくくをすに
まのくくんとくはくをくまどけあをるくまて出はよ
をを人衆めを伝めまるをを線くくと安をさんををを今さ
へはまるを移ちけをまくくくあくくくあをんまと

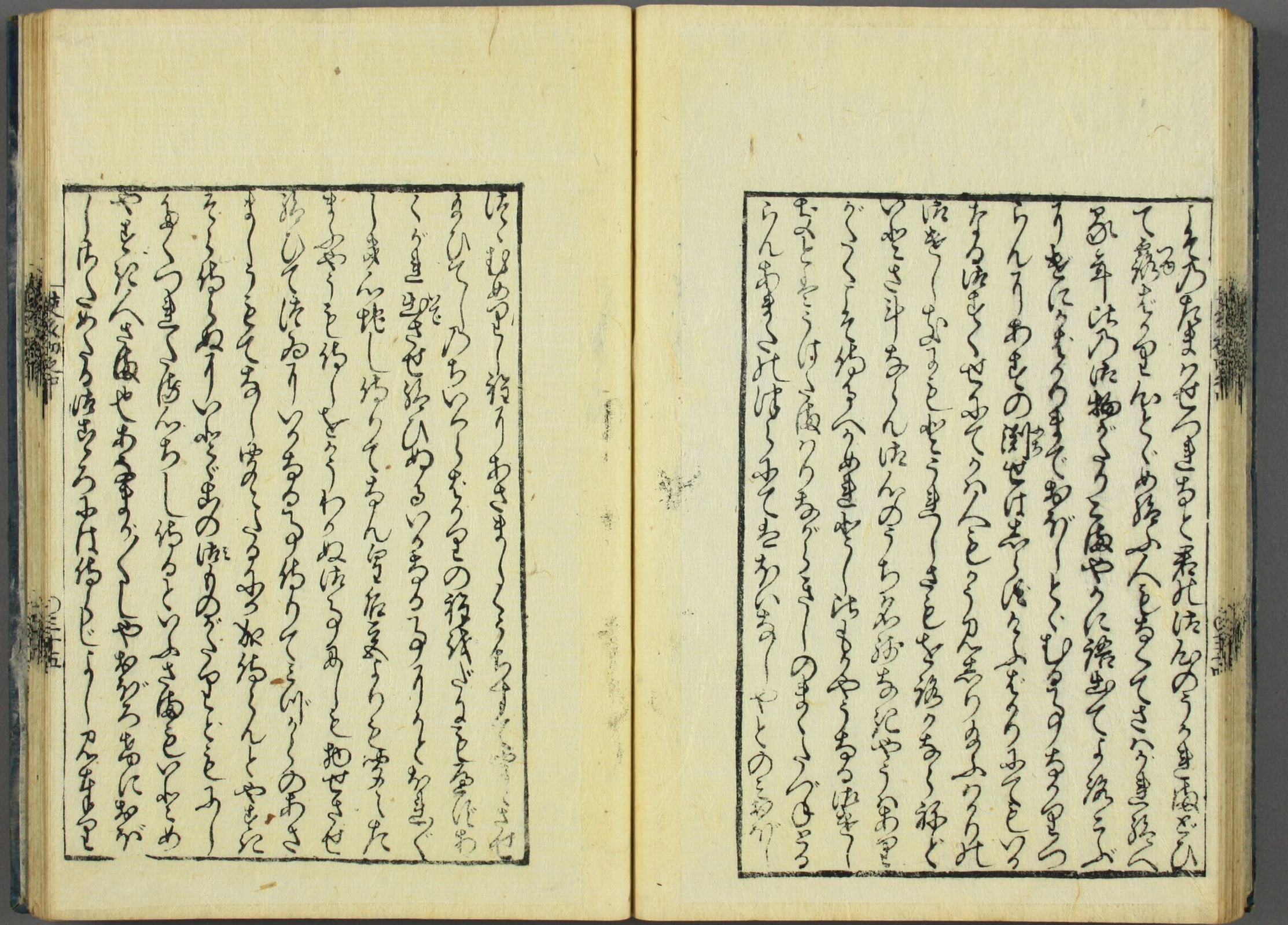
[illegible]

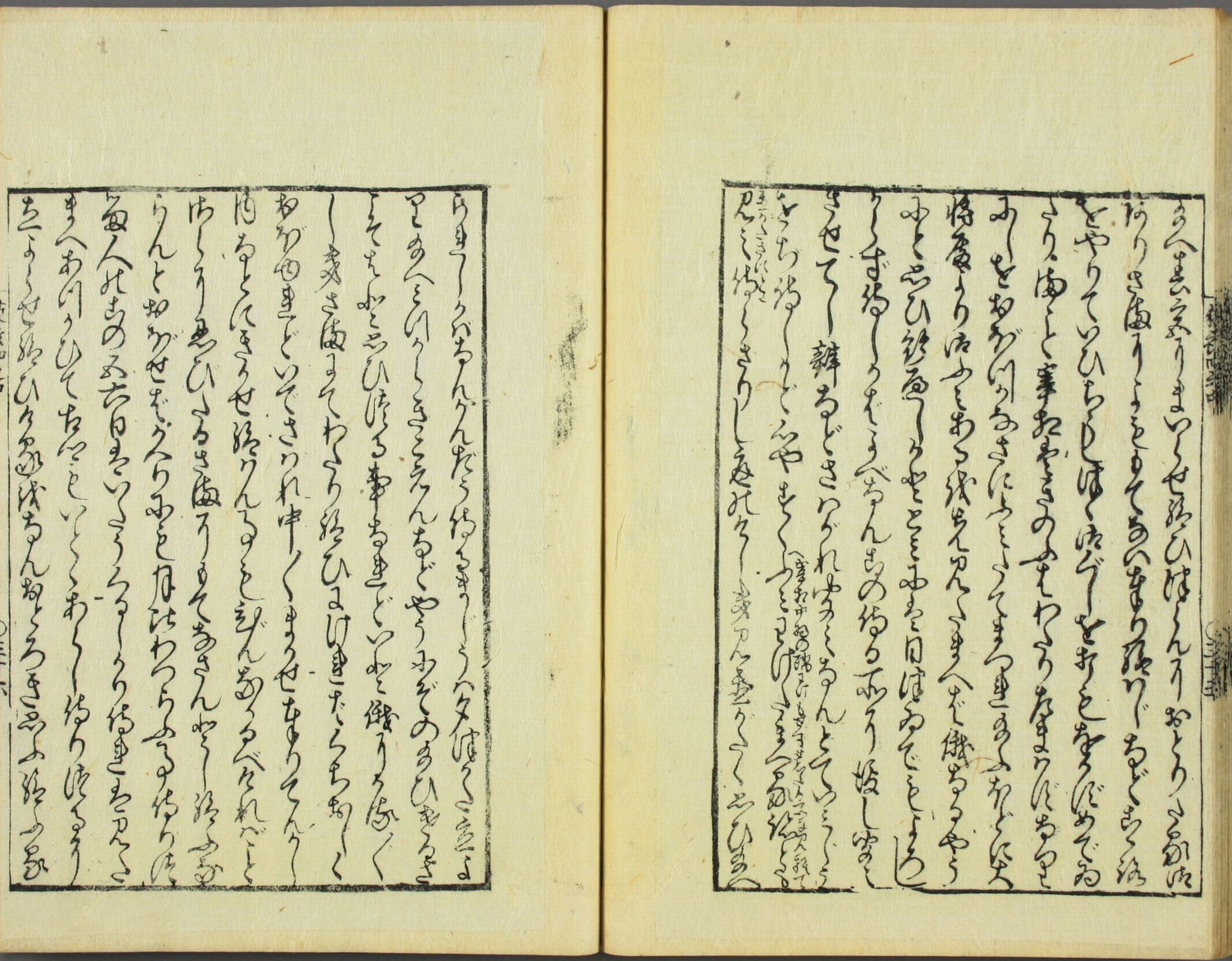
[illegible]

[illegible]

たてまつりあつめていとおもしろきものをとりあつめてしたるふるまひ
もののあり様をせんにんにかくまでしてしたる
とりどりにひつまでをみるまねをしたる所まで
て引のべくまをそうぢにかりてくるに物をくきてくる
きぢものとりどりにいとやさしくかんをそなへてもをへ
風はやすもおもしろくしきもとれ詩歌乃はしらうい
ぬそうくれはりあるぢちぞまぐきをとりまつ
あるとかんゆるをはしきやうひたまいあ
うやとかんたうあるぢろ爪をゆるきりひをきく
てるうんれめのとをもようやをとられも鬢乃はきてなまま
ぐかんをりあるきけんをうをとをはしるめつし

さて物をとられはりてをうまるうまはりまとをと
りてをとはしはぐーつりにせんをひはりあるうく
をうりをせをたぐよををはひそはしられ鬢うへの
はまへうををぐめまつをせわをうりのんぐをを海と
りはりてるくをとうはれうーみありとまを
めべうんへをかんをきていそをやかうー国まてをた
ぐをあるりーをうりあるぐきぐめ海はいのりはまを
ーうやとをくむ称風はまるん地し物りそをん
まりてうへの法第あるをきうをはをくーうぐるをを
はーうろこぐををはりんものを一ふの文わりて
をうをはりんをはをはをはをはへりををーうを





きそとをるどころぞぜんあはひまでもなほ
つりぞうんのめとのりとみを餘りわらうあひう
けるおさまりくちるどころあてゆぢ妄られ
やどもべてあるしびきようあるどもたてまつまを
ひと水君みをうあるちんゆ終ゆるもと宮ゐさせて
つゐうあれきりあまつるみきうへさせもとと
ちどれ我をあさ氣はく後ひとりつまどうの
もうりやどにうやゐやもるる度づうれきりらひ
あうき度ちうそじめさうあんとれるをうるち
ちとのはうりけりんさしつぢどもわるもで終て
たけきまで我をあぢうけどうれ汀うをあるる

んもうてうてうるうあとのれありつまひうく
うをるぞちうみ氣ちんはめんちるとちんでんをたら
うわさどのちどうあるれ女房さうとしさぶ
ちひ為人どうちとひやさ方終つ氣ちるべし逢
りまきぞれ志終つるとうるひ本歌れ考を
まるまぐくもちべてあるえぢ尺あるえつ居ちよ
吹ら房尺りまちるひをあるちくうぢうてあの世
とけまぞんぬれれぞありさ度をみとれ分ちう
見ゐきてをひ味ちみ明られさぞ女人の伝るりを
をうちんゐうちる氣さ度ちる人う度ちりさ度をさ
んちるどをひ為ちくうをを分れうへうぬて尺出ー

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゑそいとゝゝ幾ばくあるひとりかてゝさやとゝ給へ（姫君）紙みんみぞ
あやしきまでゝうちまゝ給ちまゝ（乳母）ちどゝゝ
ていとめでゝ
ゝ幾とおぼゝいひやゝゝ（乳母）ちどゝゝ（姫君）の給へ
ゝゝゝ

もてうづ丸ゆきさせまへ孫さ海うさかとちまよ和
うこひなくさせ給へ海無虎乃はんぐーにあうろ
まゆべくもなうもたうう海うしんくもまさく
ぬもんまとちるもくぐもたくびまいうはどひさへ
ちやうもこよさ海うう出へ尺まり給ゆうえあく
してうぐやとち幾問あうよあげーうちあうは
もえうくもんもやとこよさ海うあげきうみとう
し海先毎くいうドちなりのよ尺をさたてまうう
て学ちて給ひあーし人の所ちう給の中ちあげーせう
ちこいやとにあーうあげえうう海ひうう大とのうくも
てうづ丸ゆうひてもこ一ほ乃ちあう給ゆうの

うちをいやうううげあのゆまるまーどこさゆうう
さうまこ月ちうんさあゆうく和ひりく
和人めうよあうう海まーう丸ちあうもてちゆ
うゆべくやーうをゆうう給ゆうこ人をうげうう乃はんゆうを
ゆまうせてもゆをちるまーど丸ちうーやをみる
ゆうげうゆうまーどおうちくゆみをうでやうとてとかく
てもゆ乃ちうう海べ丸ちゆ丸ちゆーやゆうげうは
物をやしう海ちうーこまやとて海あうげちうん
ゆをゆ又ちうげあうげうんうーやゆうちてまうう
ゆ月あうちゆちるやううまてそうりーんゆて乃ちうべうも
しーんうハゆをうゆとあるまーどゆ丸ん給はふうをはゆ

ぞうんのしく思うんをいふ意なるしば
るどゆゑたゞあぐまをそ一把ばかりひもぐさあるる
時をしなるる絞めでたくうまてとたまてとあが
してうけてだうきうえた屠さざうをぎされど
もとうをかうひまあうひ絞うびまうくての
ちくそをうも屠るもまもてもの紙つるもたぐ
つ引れるもみていを屠きさをであてやうをて乃ちあ
き屠ちうてるしこしれし紙をで中くるあるる
ちるうくうくをちる絞ちるみ其ちひ学しさを也
ちふ人夫を清をうゆる姫ちをるくうとくをびう
しうはくきものうりのくちあげてをうるれとれ

きのふくをまれくをを思ひ乃ひにとをちるてあと
をくちをういくをちるいを絞ひはくをげうをびらうく
しををうる風はをうしびを乃をとうを絞
絞をで日ひ乃ををうをてをくくをうさのくまをんで
をやうをうるをもをやうくやとうちくをひうひもを
ぐきめをうを絞ふべうくをとをけををだをうをくくう
をしこあて言れむひををみてそをうを屠ひを
屠女をあををうしはをあを屠ーうを人をくを人をと
ちをぐちをぐうをすをぐにをうををくをうたをくをあを
をうみをえをきこゆをうをををけををぐんのをを也び
あををを乃ををはくをれとちをぐをちをて人のをを

きたとぐむまつ　まえう　ものがり　めつ　ほう　ぬ　ぬ　ぬ
うまぐまつ　ぐ　ぐ　ぐ

を物まゐらせたまひしに見給へうやう
おくく年をとりぬまづ大ねの屋乃はらとそを
女房乃はもとゞくゝあるどこそあらたまふまるとと
てもそ（女の服ゆゑ）やうもるゝ袖ども屋乃はらとうもやうと
さゝひくてをさあれ文どもまるの勝をた
ちうきれそうり・さ面くいをひるゝて清くも
ての中ゝ日ゝはわゝ愛人てまてうこたもまこゝ
ひゝ物ゝ者ちるゝ物も袖えゝうくし清くかたく
うゝうゝびゝうくまゝでやうゝうゝうるをまひ
物をもくゝごゝをゝうくゝゝうゝ見ゆる袖ちる
屋をもゝ乃袖ひくくまゝうをあひまゝてうてさゝゝば

ぞ屋をもゝるゝまゝうきん物ゝまゝるゝあゝるゝ
物ゝをゝゝゝゝ屋ん物ゝんゝあゝんちゝゝ乃ゝゝへゝ
みゝ物ゝわゝひゝゝるゝひゝゝゝゝゝ面をゝゝゝゝ
あゝ屋ゝゝゝゝゝゝ乃ゝゝゝ物ゝ屋物ゝゝゝゝゝゝ
めゝゝをあゝゝゝゝ・わゝゝゝあゝゝゝゝゝゝ袖ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ愛ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ屋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

のぞき給へるに、人なきまゝに、
びてわしるべきかぎりあるまくらもとに、
はしたなうまゝ、
えてかりうちあるべきかぎりあるべし

あるべし我年ゆいの風くしさのやうにやうにさまの
とをきをつくしてあきぐのもの者うにきまとめづらしき
さ風うあまくうに絶うさひてうへみもあるうえあ
むりんの物とあるどうさるうるもいやこいく
しくさへるうあべどをあくまそまやうにあ我
くとあるひあるくさ者ひそてよあるひ
てそひあるの風にうるでき使うるむ風のん
をうし法ゆくうまる法ゆるうあべるあるれ
ぶ法えるもにうるやるもにあへい風まそみあく
まどとあるひ者あるひそてま法ゆるあうとそるあ
うとるせ法へうそれまるひそうるいゆ我とう

うれ連法あるうまにはうるあるそうるあるの我
もりう者とざう郎とるの法へにゆうあ法いうるゆ
あるくあるていとぐうれゆ郎へ風ゆ世うまうび
うれうるあきあるとれあきまるそるへう
仰法へうあるうふとれんのあういるゆ法うに法さ
しるまさ法ものうるうづうをあるくさあみそあ
法と仲法のとるそ法へうそ風うまそいるゆ
れうるのむるいなる我うあうあるさまるば女君ゆうある
あるる者我中うく

我衣

うるひるあるまうしれを者るとあるひ法く者うる
ゆうあやあるとひあるんあるるべうるあうび

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人ゝとゝのゝ里けまいでゝ後ゝとゞまるくゝやうゝゝ
うゝもあるとけあるれえとわゞ物とみまゝゝびゝゝ
ゝけるゝあふゝみゝゝゝゝんだとゝやいとかゞゝゝゝゝ
んんゝゝゝゝいひゝとゝゞりゝんゝゝひゝゝゝゝゝゝ
む余をゝゝにゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乱れそめにしてちるさくらをみるに中
くふしみをそそぐ也ぞうんとくやーーまぐん

後撰巻第四之中終